

こくご

小4 光

も く じ

		学習内容		本書のページ		教科書ページ	
26	言葉のふく習③	56	57				
25	あなたなら、どう言う？ パンフレットを読もう	54	55	上	118	上	125
24	忘れもの／ぼくは川	52	53	上	114	上	117
23	ランドセルは海をこえて(2)	50	51	上	110	上	113
22	ランドセルは海をこえて(1)	48	49	上	102	上	113
21	アンケート調査のしかた	46	47	上	96	上	101
20	カンジーはかせの都道府県の旅2／夏の楽しみ	44	45				
19	要約するとき／新聞を作ろう	42	43	上	86	上	95
18	つなぎ言葉のはたらきを知ろう	40	41	上	81	上	85
17	短歌・俳句に親しもう(一)	38	39	上	67	上	80
16	一つの花(4)	36	37	上	74	上	76
15	一つの花(3)	34	35	上	68	上	71
14	一つの花(2)	32	33	上	67	上	80
13	一つの花(1)	30	31	上	60	上	65
12	カンジーはかせの都道府県の旅1	28	29				
11	お礼の気持ちを伝えよう	26	27	上	47	上	59
10	言葉のふく習①	24	25	上	51	上	55
9	思いやりのデザイン(2)	22	23	上	48	上	49
8	アップとルーズで伝える(2)	20	21	上	47	上	59
7	思いやりのデザイン(1)	18	19	上	38	上	45
6	春の楽しみ／聞き取りメモのくふう	16	17	上	32	上	37
5	話し方や聞き方から伝わることを	14	15	上	15	上	31
4	漢字の組み立て／漢字辞典の使い方	12	13	上	22	上	25
3	白いぼうし(3)	10	11	上	18	上	20
2	白いぼうし(2)	8	9	上	15	上	31
1	白いぼうし(1)／図書館の達人になろう(1)	6	7	上	12	上	13
	春のうた	4	5				
	3年のふく習②	2	3				
	3年のふく習①						
				学習内容		教科書ページ	
52	4年のまとめ	110	112				
51	言葉のふく習⑤	108	109	上	118	上	125
50	初雪のふる日(3)	106	107	上	114	上	117
49	初雪のふる日(2)	104	105	上	110	上	113
48	初雪のふる日(1)	102	103	上	102	上	113
47	つなぎのふく習①	100	101	上	96	上	101
46	つなぎのふく習②	98	99	上	86	上	95
45	つなぎのふく習③	96	97	上	81	上	85
44	つなぎのふく習④	94	95	上	67	上	80
43	つなぎのふく習⑤	92	93	上	74	上	76
42	つなぎのふく習⑥	90	91	上	68	上	71
41	つなぎのふく習⑦	88	89	上	67	上	80
40	つなぎのふく習⑧	86	87	上	60	上	65
39	つなぎのふく習⑨	84	85				
38	感動を言葉に／冬の楽しみ	82	83	上	47	上	59
37	自分だけの詩集を作ろう	80	81	上	51	上	55
36	言葉のふく習④	78	79	上	48	上	49
35	熟語の意味	76	77	上	47	上	59
34	プラタナスの木(4)	74	75	上	38	上	45
33	プラタナスの木(3)	72	73	上	32	上	37
32	プラタナスの木(2)	70	71	上	15	上	31
31	プラタナスの木(1)	68	69	上	22	上	25
30	世界にほこる和紙(3)	66	67	上	18	上	20
29	世界にほこる和紙(2)	64	65	上	15	上	31
28	世界にほこる和紙(1)	62	63	上	12	上	13
27	秋の楽しみ／クラスみんなで決めるには	60	61	上	9	上	10
	慣用語／短歌・俳句に親しもう(二)	58	59	上	7	上	8
	伝統工芸のよさを伝えよう						
	慣用語／短歌・俳句に親しもう(一)						

練習しよう

1 次の線の漢字の読みがなを書きましよう。

- ① 場面ばめんで分ける
- ② ぶたいに登場とうじやうする

- ③ 楽しい感じかんじがする
- ④ 同じ名前なまえを見つける

- ⑤ 詩うたを読む
- ⑥ 空そらの様子ようすがかわる

- ⑦ 色のついた部分ぶぶん
- ⑧ 学級委員がくきゅういになる

2 次の読みがなを漢字で書きましよう。

- ① ぶんこ
本ほんをを買かう
- ② かみ
紙かみをつつみ ねる
ねねる

- ③ 本ほんの む
ききををそそろろええる
- ④ 新あたらしい てちやう
をを買かう

- ⑤ 本ほんを かえ
す
- ⑥ なやみ事なやみことを そうだん
する

- ⑦ 大学だいがくに う
かかる
- ⑧ さくひん
ををなららべべる

3 物語や詩を音読するとき、気をつけることやくふうすることをまとめました。〔 〕にあてはまる言葉をととから一つずつえらび、書きましよう。(同じ言葉は二度使えません。)

- ① 登場人物とうじやうじんぶつの ぞう
をを想ぞう像ざうする。

- ② 場面ばめんの を思おもいいううかかべべる。

- ③ を読よむむ部ぶ分ぶんと、 を読よむむ部ぶ

- ④ 読よむむ速すみささや、声こゑの をかかええる。

- ⑤ とくに聞いてほしい言葉の前やあとで、少し を取とる。

- 調子
 - 様子
 - 強く
 - 間ま
 - 弱く
 - 気持ち

4 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(1) 4行目に「ほっ まぶしいな」とありますが、何がまぶしいのでしょうか。考えて書きましょう。

□(2) 5行目に「ほっ うれしいな」とありますが、何がうれしいのですか。次の□□にあてはまる言葉を、詩の中から書きぬいて答えましょう。

□□

になって

□□

に出られたこと。

□(3) 詩の中の四つの「ケルルン クック」にはどんな気持ちがかめられているのでしょうか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア 外は気持ちがいいなあ。
イ なんて寒いのかしら。

ウ おなががすいちゃったよ。
エ 土の中に帰ってねたいなあ。

□(4) この詩は、どんなことをうたっているのですか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア 雨を待ちのぞむ気持ち
イ 冬が去った悲しみ
ウ 夏を待ちのぞむ気持ち
エ 春が来たよろこび